



名古屋市立千早小学校

保護者会用

令和4年2月22日

本年度の努力点のまとめ

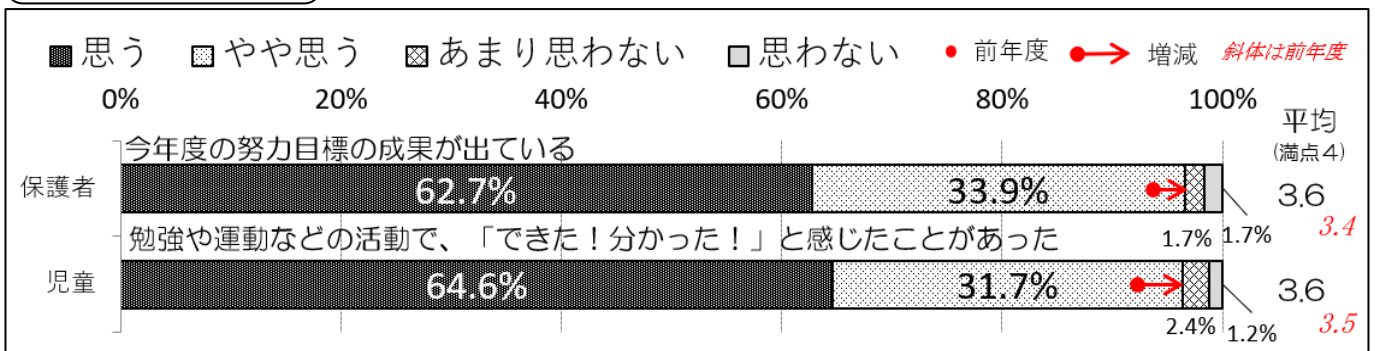
テーマ **できた！分かった！と言える子を目指して**
～自分の学習状況を見つめる授業づくりを通して～

昨年度に引き続き、自己肯定感の向上をねらった取り組みを行っています。自分自身のできることや分かることが増えることで、自信をもって活動したり、楽しさや喜びを感じたりすることができるように、指導方法を工夫しました。

授業で大切にしたこと

- ① 目標の明確化
授業の初めに、子どもたちが「何を学習するのだろうか」と考えるようなことを提示して、「調べてみたい」「やってみたい」という思いをもたせました。
- ② 方法の明確化
どのように学習を進めればよいのか考えて、「これならできそうだ」という思いをもたせました。
- ③ 結果の明確化
解決に至った理由を明らかにしたり、学んだことを生かして新たな問題に取り組んだりして、「できた・分かった」「次もやってみよう」という思いをもたせました。

アンケート結果から



保護者・児童とも平均 3.6 となり、昨年度よりも高い評価が得られました。評価が高まった要因として、タブレット端末を活用して、手軽に調べ学習を行ったり、友達と考えを交流したりすることで、自分の考えを広げたり深めたりして、「できた！分かった！」を実感することができたからだと考えます。今後も、児童が主体的に学習に取り組み、「できた！分かった！」を実感することができる授業づくりに取り組んでいきます。

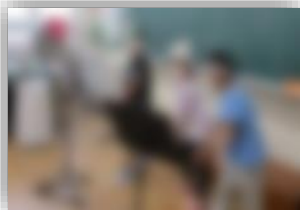
<各学年のわらいに迫る授業例>

次のような授業を基に、児童の自己肯定感の向上に努めてきました。その一例をご紹介します。

1年生 国語「おおきなかぶ」

自信をもって音読することができるようにするために、グループ内で発表し合ったり、登場人物の気持ちを考えたりしました。

友達のアドバイスを聞いて、上手に役になりきり、演じたり音読したりすることができました。



2年生 算数「かけ算」

同じ数のまとまりに着目して、L字型に並んだものの数をかけ算を使って求めました。

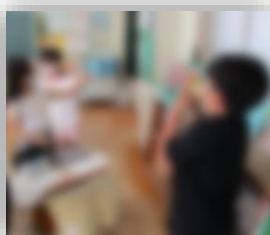
タブレット端末で友達と考えを共有し、よりよい数の求め方について考えることができました。別の求め方はないか意欲的に学習に取り組む姿も見られました。



3年生 理科「音のふしぎ」

糸にスパンコールを通した糸電話を用いて音が伝わるしくみについて学習しました。

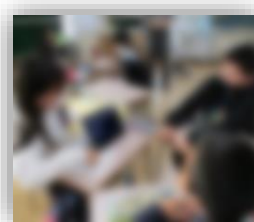
実験を行う前の自分の考えと、実験を行った後の自分の考えとを比較することでできたことや分かったことを明らかにしました。その結果、自信をもつことができました。



4年生 学級活動「個人目標を考えよう」

学級目標を達成するために、自分にとって適切な個人目標を考えました。

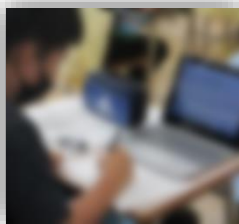
タブレット端末のシンキングツールを活用して考えを整理しました。苦手なことを克服するための行動を考えたり、友達からアドバイスをもらったりして、適切な個人目標を立てることができました。



5年生 国語「大造じいさんとがん」

物語を読んで、大造じいさんの心情を表す言葉を探したり、物語が進むことでどのように心情が変化するかを考えたりしました。

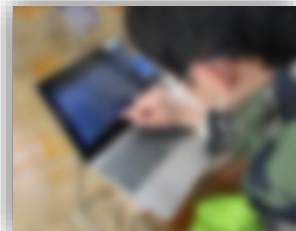
タブレット端末を活用して友達の考えと自分の考えを比較することにより、自分の考えをはっきりとさせて、物語の読み取りに自信をもつことができました。



6年生 算数「比例と反比例」

比例を使った問題を作り、タブレット端末を活用して共有し、互いに解き合いました。

身の回りのことから問題を作ることで理解を深めるとともに、友達が作った問題を解くことで、算数が日常生活に生かされていることを実感することができました。



ひまわり・たんぽぽ 自立活動「朝の会」

朝の会の司会を行い、友達の前で挨拶をしたり、日付や予定、みんなの体調を確認したりしました。

タブレット端末に表示される進行表を確認しながら朝の会を行ったことで、自信をもって友達の前で堂々と話をしたり、友達の質問に適切に答えたりすることができました。

